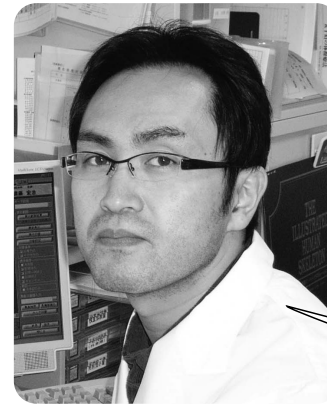


こんにちは。整形外科です



えんどう こうじ
遠藤 宏治先生（鳥取大学整形外科）

みなさんこんにちは。智頭病院整形外科を担当させていただき4年目になります。毎週金曜日午前外来を行っていますが、普段は鳥取大学整形外科に勤務しており、大学では骨および軟部組織（筋肉や皮下組織など）に発生する腫瘍の専門外来を行っています。

今回は骨腫瘍(こつしゅよう)についてご説明いたします。

骨腫瘍について

- ・骨および軟骨より発生する腫瘍で、原発性骨腫瘍（良性腫瘍、悪性腫瘍）、続発性骨腫瘍（転移）、腫瘍類似疾患（真の腫瘍ではない）の3つに大きく分類されます。
- ・腫れ、痛み、骨の変形を症状として受診されますが、別疾患でX線撮影をした際に偶然見つかることも多いです。
- ・腫瘍の種類により、発生しやすい年齢や部位があります。
- ・約8割はX線撮影で診断がつくといわれています。
- ・外来で最も多く診察の機会がある骨腫瘍は、続発性骨腫瘍（転移）です。

治療

- ・良性腫瘍では搔爬（腫瘍の中身を搔き出す）、切除術を行います。生じた骨の欠損には自分の他の骨（自家骨）から移植したり、カルシウムやハイドロキシアパタイトでできた人工骨を移植します。
- ・悪性腫瘍には、根治手術が行われます。根治手術とは、広範切除（再発の確率が少ないと思われる範囲で切除）、切断・離断術です。
- ・関節に切除範囲がかかった場合は、人工関節置換術や関節固定術などが行われます。
- ・悪性腫瘍の場合、根治手術に加えて化学療法（抗がん剤投与）、放射線療法などを組み合わせることがあります。



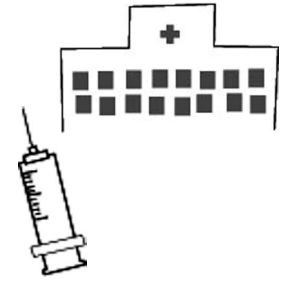
検査

- ・X線撮影
- ・シンチグラム（骨、タリウム）
- ・CT
- ・MRI
- ・血液生化学検査
- ・病理検査（腫瘍の一部を採取し診断する）などがあり、考えられる腫瘍の種類により組み合わせる検査を行います。

病院職員募集

平成22年4月採用職員を募集します。※大学・専門学校卒業予定者を含む
 ○管理栄養士 2人 ○言語聴覚士 1人 ○薬剤師 1人 ○看護師 若干名
 申し込み期限 12月28日(月)
問合せ先 国民健康保険智頭病院 庶務課 寺谷 ☎75-3211 (代表)

シリーズ 新型インフルエンザ



医療従事者や妊婦、基礎疾患（糖尿病、ぜん息など）のある人から順次、新型インフルエンザ（A/H1N1）の予防接種が開始されました。対象者は、予防接種の効果とリスクをよく理解したうえで、個人の判断により接種するようお願いいたします。

● 新型インフルエンザ予防接種 Q&A ●

Q1 季節性インフルエンザワクチンは、新型インフルエンザにも効果があるの？

A1 それぞれのワクチンはそれぞれのインフルエンザにしか効果がないと考えられています。

Q2 新型インフルエンザに感染した人でも新型インフルエンザワクチンの接種が必要？

A2 一般的に、新型インフルエンザに感染して発症した人は、免疫を持っていてと考えられるため、予防接種をする必要はないと言われています。ただし、

確実に新型インフルエンザに感染したと言えるのは、専門の検査（PCR検査など）でウイルスの確認が行われた人のみです。

Q3 優先接種対象でない人は接種できないの？優先接種対象者は、新型インフルエンザワクチンを接種しなくてはならないの？

A3 優先接種対象者以外の人については、優先接種対象者が終了次第、流行や接種の状況、供給量などを踏まえ、対応します。また、優先接種対象者は、必ず接種しなければならぬわけはありません。

Q4 海外産と国内産は何が異なるのですか？

A4 海外で製造されたワクチンは、①現時点では国内での使用経験、実績がないこと②国内では使用経験のないアジュバント（免疫補助剤）が使用されていること③国内では使用経験のない

細胞培養による製造法が用いられているものがあること（国内産は鶏卵培養による製造のみ）④筋肉への注射であること（国内産は皮下への注射）⑤小児に対しては用量が異なることなどが、国内で製造されたワクチンと異なっています。今後、海外で承認されていることを前提として、様々なデータをもとに、有効性・安全性を確認してから実際の接種がはじまります。

い細胞培養による製造法が用いられているものがあること（国内産は鶏卵培養による製造のみ）④筋肉への注射であること（国内産は皮下への注射）⑤小児に対しては用量が異なることなどが、国内で製造されたワクチンと異なっています。今後、海外で承認されていることを前提として、様々なデータをもとに、有効性・安全性を確認してから実際の接種がはじまります。

発熱や咳、体がだるいなど、冬季に流行するインフルエンザと似た症状があったら・・・

まずは電話相談！

0857-22-5100

鳥取保健所（発熱相談センター）

☆すぐに医療機関にかかるのではなく、まずは発熱相談センターまたは医療機関へ電話をかけましょう。

対象者	助成額	自己負担額
優先接種対象者で且つ生活保護世帯の人	全額	なし
優先接種対象者で且つ市町村民税非課税世帯の人	全額	なし
妊婦、1歳～中学3年生	3,000円	1回目 600円 2回目 550円 (異なる医療機関の場合は3,600円)
基礎疾患のある人	2,000円	1回目 600円 2回目 550円 (異なる医療機関の場合は3,600円)

※鳥取県東部の医療機関で接種する場合は、助成券を提示すると表の自己負担額で接種できます。

※鳥取県東部以外の医療機関で接種した場合や助成対象者で助成券を持参しなかった場合は、全額一旦医療機関へ支払っていただき、後日智頭町保健センターで還付の手続きを行ってください。

【還付の手続きに必要な書類】

- ・医療機関発行の領収書
- ・新型インフルエンザ予防接種済証
- ・通帳（郵便局以外）
- ・印鑑

問合せ先 保健センター 福祉課 ☎75-4101